

2020年07月13日

紙媒体減少続く印刷業界——構造改革のスピードを注視

新型コロナウイルスの感染拡大は印刷業界にマイナス影響を及ぼしている。足元ではイベントの中止や広告需要の減少に伴い、チラシなどの販促物関連の売り上げを落としている。雑誌の発売延期などで出版印刷物の需要も減少しており、紙媒体分野は厳しい状況だ。コロナを契機にデジタル化が加速する中、同分野の事業環境の好転は考えづらい。

凸版印刷（証券コード：7911、発行体格付=AA-）と大日本印刷（7912、AA-）の大手2社は、依然として紙媒体分野の事業ウエートが大きい。紙媒体以外にもインバウンドの関連商材などで需要の減少が生じており、両社の業績への影響は避けられない見通しだ。もっとも、紙媒体の周辺で展開しているBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）などのサービス領域や生活必需品向けのパッケージの需要は底堅く、利益を大きく落とすことはないとみている。中堅の共同印刷（7914、BBB）は紙媒体以外で展開している領域が限られ、大手2社と比較すると厳しい状況だ。業績の低迷が長引けば、信用力にマイナスに働く。

包装資材など特定の領域に、競争力の高い商材を抱える企業への影響は比較的小さい。飲料や食品向けのシュリンクラベルに強いフジシールインターナショナル（7864、A）や医薬品向けの包材で高い競争力を持つ朝日印刷（3951、BBB）は、各商材の底堅い需要を支えに、コロナ禍でも比較的安定した利益を確保できるとみている。

大手2社を筆頭に各社の財務バランスは良好で、堅実な財務運営方針を掲げている。コロナに伴う一過性の需要減少に対応する財務耐久力はある。紙媒体需要の縮小が加速する中、周辺領域のさらなる強化やコスト削減などの構造改革を押し進めている。各社の取り組みの状況を注視していく。

主任格付アナリスト：赤平 峻

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。